

呼吸が自然と深くなる、
日本の香り。

知るほどに使いたくなる

「和精油の 選び方、使い方」

第一回 クロモジ物語り



重松浩子さん

しげまつひろこ「Jスタイルアロマ研究所代表。英国ITEC認定アロマセラピスト。日本でアロマセラピーが広く知られる前からアロマを学び実践している。「日本人に合うアロマ」を研究し、産地と消費者をつなぐ「日本の精油」の普及に力を注ぐ。著書に『はっか油で楽しむ暮らしのアイデア』（玄光社）ほか。



森の温泉旅館「花吹雪」の敷地入り口には暖簾がかかり、風に揺らぐ様子は異世界への手招きのよう。

日本の森の樹木や柑橘類からつくられた精油「和精油」が注目を集めています。この連載では、和精油の第1人者として生産者と消費者をつなぐ活動続ける重松浩子さんが、日本産天然精油の持つ物語や魅力を紹介していきます。和精油を使うことが日本の森を守ることにつながる。その思いをこめて。

重松浩子 ◎文・写真 Jスタイルアロマ研究所代表

別の時間が流れる

クロモジの香り漂う森の異空間

暖簾をくぐったら、「ニオイ」が変わりました。

それは、私の脳が「ニオイ」と分類する、空気の質のようなものです。伊豆の旅館「花吹雪」の初訪問は、残暑厳しい9月上旬。苔むした階段を下りていくと、さっきまでの日照りと車道の土埃がしつとりと清々しい空気に変わり、呼吸が楽になりました。

ここは敷地4000坪の森に料理茶屋、天然かけ流し温泉、客室が点在し、移動が同時に森の散策なのです。アメニティーは自社製品のクロモジシリーズ。温泉は脱衣場まで総ヒノキの湯やクロモジの大ぶりの枝を浴槽に挿してあるクロモジ湯などが予約なしで貸切入浴でき、入口の灯籠やランプの灯りが使用中を知らせてくれます。

時間で変わる植物が作りだす「匂い」。目の前を横切るリスや小鳥。インテリアやオブジェ、部屋着にいたるまでもセンスの良さに懐かしさと新しさ、日本的で異国的で、混在しながら統一感があり、とても落ち着けます。そこに流れる時間は、本当に別物。クロモジがよく似合います。ハッキリと意識できるクロモジと、敷地内の空気の質のなかに溶け込んでいるクロモジがリズムを作ります。クロモジ漂う空間や時間がこんなにステキに感じるシ